

# 令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市春日丘老人デイサービスセンター

## 1 施設の管理運営

<ul style="list-style-type: none"><li>・介護保険に関わる業務（通所介護事業、介護予防通所事業） デイサービスセンターまで車で送迎し、入浴、食事、機能訓練やレクリエーションを実施する</li><li>・介護保険外で高齢者福祉に関わる業務（相談支援業務） 営業日：月曜日～土曜日（年末年始を除く） 受付時間 8:30～17:30 利用定員30名 通常の事業実施地域：伏見区醍醐</li></ul>
---

## 2 事業実施内容

本来業務：老人デイサービスセンター ・介護保険に関わる利用者へのサービス展開 健康状態の確認を行う。入浴、排泄、食事、移動、送迎等その利用者のニーズに応じた必要な介助を行う。 身体機能低下を防止するために機能訓練やレクリエーションの援助を行う。 必要に応じて日常生活における介護、相談、助言を行う。
企画提案業務 ・配食サービス事業 ・訪問型サービス（訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護看護） ・障害福祉サービス（訪問系）（居宅介護、重度訪問介護、行動援護）
自主事業の実施状況は、以下の通り。

## 3 サービス提供状況

センター長1名 相談員 介護職員9名（兼務含む） 看護師3名（兼務含む）
再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。 特になし

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

<ul style="list-style-type: none"><li>・給食の原材料の発注や納品を実施。</li><li>・清掃業務の委託を行っている。</li></ul>
---

## 5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1)実利用者数

①令和5年度実績値  人

②令和6年度目標値  人

(2)延べ利用者数

①令和5年度実績値  件

②令和6年度目標値  件

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	51,382,118
利用料収入	10,956,401
委託料収入	2,034,488
補助金収入	1,670,873
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	158,701
収入計	66,202,581

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	46,089,105
事業費	10,373,515
委託費	625,238
小額修繕費	738,485
その他	4,262,324
支出計	62,088,667

イ 企画提案業務1（配食サービス事業）

介護保険収入	0
利用料収入	15,034,197
委託料収入	2,532,472
補助金収入	436,995
雑収入	0
その他	392,683
収入計	18,396,347

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	3,975,441
事業費	12,194,283
委託費	287,066
その他	1,004,106
支出計	17,460,896

ウ 企画提案業務2（訪問型サービス（介護））

介護保険収入	42,238,056
利用料収入	5,018,894
委託料収入	0
補助金収入	570,217
雑収入	0
その他	0
収入計	47,827,167

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	35,417,757
事業費	198,042
委託費	103,939
その他	2,160,136
支出計	37,879,874

エ 企画提案業務3（障害福祉サービス（訪問系））

介護保険収入	11,581,637
利用料収入	0
委託料収入	0
補助金収入	196,300
雑収入	0
その他	0
収入計	11,777,937

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	7,163,962
事業費	31,518
委託費	0
その他	278,622
支出計	7,474,102

## 6 施設の利用者満足度の把握

### (1) 利用者満足度の把握状況

・個別通所介護計画を作成し、その作成の過程において利用者満足度を把握する。  
・利用日ごとに、利用の際のバイタルサイン等を記載した連絡簿を作成し、それに対して意見や要望を記入して頂く。  
・介護支援専門員からモニタリング等により、サービスへの期待や要望がもたらされる。

### (2) 利用者満足度把握の結果

・数年前に比べて、利用者が増加していることから、利用者の満足感にできていると考えている。  
・食事の9割以上の利用者より好評を得ている

### (3) 意見等への主な対応状況

基本的には相談員を中心に対応している。できるだけ早めの対応を徹底するため、全職員が対応できるように目指している。

## 7 その他特記事項

### (1)

地域との共生を目指して、醍醐いきいき市民活動センターと共同して、利用者作品の展示等を行っている。

### (2)

内外部の研修や勉強会に参加し、介護職員の資質向上に努めている。

## 8 評価（指定管理者自己評価）

新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響もあり、年度を通じて利用者数の増加がみられた。数年前から職員体制も安定してサービス内容の充実も図っている。  
昨年度をもって虐待の発生とその再発防止に対する取り組みの経過措置が終了したが、障害者差別解消法に基づく不当な差別の禁止や合理的配慮の必要性を内部研修で実施しながら、尊厳の保持や人格の尊重が維持できるようにサービス提供に努めた。